



# 5G SAR 試験 サービス

## 5G SAR Testing

2019年ラグビーW杯でのプレサービスや2020年東京オリンピックでの導入検討、5G搭載スマートフォンの販売、ローカル5Gサービスの開始など、最新通信規格である5Gのサービスが拡大しつつあります。

総務省、通信キャリアをはじめ、通信分野外の企業も含め導入に向けての準備が加速しています。

2020年2月より、UL Japanは5G SAR試験サービスを開始しました。30年以上にわたる通信分野での経験を活かし、お客様へワンストップでサービスを提供します。

## UL 利用のメリット



### SAR試験のノウハウ

30年以上にわたる通信分野での経験と実績

### ワンストップ対応



SAR試験に加え、各国無線法規、通信キャリアIoT要求、GCF/PTCRBロゴ要求、電気安全、信頼性試験など、同時にご依頼いただくことで、サンプル数や輸送コストの削減、トータルでの評価期間の短縮につながります。

### お問い合わせ

Email:  
CTECH.Marketing.GA@ul.com

## 第5世代移動通信システム (5G)

自動車の自動運転、工場のスマート化、エンターテインメント分野のアクティブ化など、従来から通信を運用していた分野にとどまらず、クラウドとの融合など、新たな分野、サービスを大きく変えると期待されています。しかし一方では5Gの人体への影響も懸念されています。

## SAR (人体ばく露) 試験

SARとは電磁波エネルギーの人体への比吸収率を意味します。SAR試験では無線機器を一定期間使用した際に、電磁エネルギーが生体組織にどの程度吸収されるかを測定します。

日本をはじめ世界各国において、携帯電話やノートパソコン等のポータブル無線機器を対象に、SAR試験が要求されています。今後5Gが普及すれば、5Gに対するSAR試験が必要となります。

## 5G SAR 試験用設備導入

UL Japanでは5G SAR試験サービス開始に合わせ、新たにプローブとコールボックスを導入しました。これによりFR1(6GHz以下)の機器を対象として5G SAR試験が可能となります。FR2(ミリ波)については、FTM(Factory Test Mode)対応機器であれば測定可能です。今後、順次設備導入し、FTM非対応機器での測定を可能にする予定です。

## 通信分野に強い UL

ULはCE、FCC、IC、日本およびAustralian Radiation Protection and Nuclear Safety Agency(ARPANSA)をはじめとする世界中の様々な規格に準じたSAR試験を実施します。

SAR試験だけでなく、EMC試験、無線試験など、ULには30年以上にわたる通信分野での実績があり、経験豊富なエンジニアが多数在籍しています。

ULは次世代セルラー分野でもお客様を強力にバックアップします。